

# ぴあ・いろは通信

11月

○放課後等デイサービス 放課後クラブぴあ

○児童発達支援 療育ルームいろは

《お問合せ》TEL 33-4860 (ぴあ内)

季節の変わり目、風邪が流行しています。外出から帰ったとき、食事の前のケア(手洗い、うがい、着替えなど)を少し意識してみましょう。事業所内でも、換気や衛生管理に特に気を付けていきたいと思います。

## 《 11月行事 》

### 【いろは】バナナジュースづくり

いろはの行事は、「楽しい」ことはもちろんですが、『自分でできる達成感・自分で選んで決める・手順書を使うスキルを身につける・困ったとき、ヘルプを出す練習』などの要素を大切にしています。そのための準備として、手順書や選択ジグの準備、ヘルプカードの設置、食材の小分けなどを事前に行っています。

今回は、ジュースミキサーを使用しました。10 カウントしながらスイッチを押し、音を立ててジュースが出来上がるのを、目をキラキラさせながら見つめていました。自分のために作る体験をし、自宅では家族のために作る体験ができるといいなと思います。

### 【ぴあ】レンジドーナツづくり

家庭での調理の自立を考えたとき、電子レンジはとても有効な電化製品であると思います。今回は、ドーナツ種を加熱するために使用しました。どのくらい加熱するかはタイマーを使用し、「タイマーが鳴ったら加熱終了」にしました。タイマーもとても便利なキッチングッズですね。インスタントラーメンやパスタのゆで時間など、日ごろから使用している方も多いのではないのでしょうか？

また、飲み物は選択できるように写真カードを準備し、好みの飲み物を選んでもらいました。好きなものを選択肢から自分で選ぶという活動は、日ごろの療育の中でも大切にしている行為の一つです。余暇の選択、食べたいおやつを選択、対人課題の選択、使用するエリアの選択など、意思表示のできる機会を設けています。

今後も、将来の生活を想像しながら、使えると便利な道具の使用や、選択して好みを表出する機会を作っていきたいと思います。



## 《 12月行事 》



### ☆クリスマス製作☆

【ぴあ】3日(月)～7日(金)

【いろは】10日(月)～14日(金)

★手順書のコピーをご希望の方は、スタッフまでお声掛けください。

## 《 アメリカ研修報告 ③ 》

アメリカ研修の団長として引率していただいた梅永雄二(うめながゆうじ)先生は、現早稲田大学教授で、何度もノースカロライナ州で学ばれ、日本でも自閉症スペクトラム症を伴う方の就労支援、就労移行支援の大家であり、移行アセスメントプロフィールである TTAP (ティータップ) の専門家です。著書も数多くあり、ゆいねっと新居浜でも梅永先生の著書で勉強させていただいたり、TTAP の研修を受けさせていただいたりしていました。今回、ご一緒していただき、TEACCH の歴史やノースカロライナ州の概要、視察の解説などをしていただくことができました。メンバーの皆さんは、自閉症支援にかかわる様々な職種の方々に、熱心な取り組みの情報交換をさせていただくことができました。この出会いを大切に、学ぶ意欲が湧いてきました。



## 《 避難訓練をしました 》

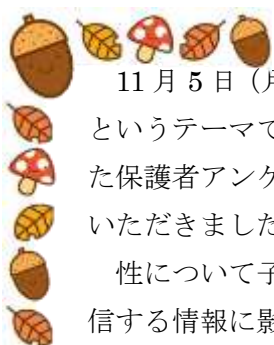
10月23日新居浜市総合福祉センターで防災訓練があり、いろはの利用さんと職員で参加しました。

館内放送を聞いた後、事業所前で点呼を取り、階段で駐車場に歩いて避難しました。靴を履く、階段を職員と降りるなどは、イラストカードを見せながら誘導しました。みんな落ち着いて行動することができました。

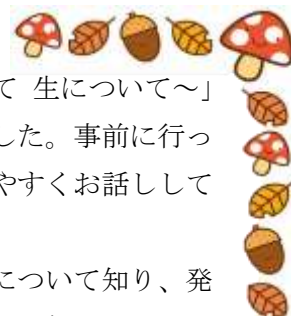
避難完了後は、消火訓練を見学したり、消火器を実際に触って見たりしました。待っている間に飽きてきた子には、メモ帳に好きなキャラクターのイラストを描いて見せると気分転換となり、最後までその場にいることができました。初めて防災訓練に参加するお子さんも、事前に避難の手順を知らせておくことで、混乱なく参加できました。

職員間では、避難袋の中身の厳選や避難袋の持ち出しやすい場所の検討、避難待機中の子どもたちの気分転換のために必要なグッズ等について話し合いました。

また、事業所前の廊下に設置されている消火用散水栓の確認も行いました。扉を開けると、使用手順がイラスト、数字、2種類の文字で示されており、誰にでも使い方がわかりやすくなっていました。こんなところに視覚支援！！と、納得と驚きでした。



## 《 ゆいねっと Study 倶楽部 》



11月5日(月)に行われた第49回ゆいねっと Study 倶楽部では、「～性について 生について～」というテーマで、ライフサポートここはうすの桑原綾子先生にご講演いただきました。事前に行った保護者アンケートや桑原先生の支援体験をもとに、自閉症と性についてわかりやすくお話ししていただきました。

性について子どもたちに教えるためには、まず支援者自身が持っている価値観について知り、発信する情報に影響することを理解したうえで伝えること、多様な考え方があることを知っておくことなどを教えていただきました。性に関する内容は、体の仕組みや第二次性徴の体の変化、妊娠と出産、思春期の心、性被害や犯罪、人権についてなど多岐にわたり、情報が氾濫する現代においては、本人の成長を感じたりかわりに悩んだらなるべく早く正しい情報を伝えることが大切だということです。教え方は、「具体的に」「肯定的に」「視覚的に」「科学的に」「客観的に」「淡々と」です。

次回

### 第50回 ゆいねっと Study 倶楽部 『 支援体験をしてみよう 』

日時：12月3日(月) 10:00～11:30

場所：新居浜総合福祉センター 2階 第2研修室

参加費：一般500円

ワークシステム、PECS などを使用してみよう。わかりやすい支援のヒントを探そう。

ご参加を希望される方は、11月30日(金)までにお申し込みください。

★ゆいねっと新居浜 HP 内「BLOG」にて、ぴあ・いろはでの活動の様子を更新中です★

<http://yuinet-niihama.com/>

